

Q16 参加した感想を、自由に書いてください。

① 地域振興とデータサイエンス

- ・自分が今まで関わったことのない分野なのでとてもおもしろかった。
- ・いろいろな班の様々な意見を聞いて、こんな考え方もあるのかという新しい発見があって楽しかったです。
- ・今まで自分が住んでいる地域の観光問題などあまり気にしていなかったので、これを機に山形県の観光問題について考えていきたい。自ら解決策を考えるというのは、これからの学習に役立てられると思った。
- ・米沢を良くするために様々な計画を立てていくところが楽しかったです。米沢の良さや課題を元に、これからもっと米沢を良くしていきたいです。
- ・未来の米沢を考える良い機会になった。(4)
- ・このコースは自分たちでどうしていくか考えなければならなくて、想像が必要でした。今回私は、たくさんアイデアが思いつき、そのアイデアが広がっていくごとにワクワクしていました。なので、自分はこういったことが得意なんだと自分を理解するきっかけになって、とてもうれしかったです。
- ・自分が住んでいる地域の観光業での課題を見つけることができた。
- ・3回活動を行ってきて、1回目よりも地域振興に対する興味は深まったと思うし、課題も多く見つめられたと思います。プレゼンでは自分たちのアイデアをもうちょっと具体的に説明できたんじゃないかと思います。
- ・今までのまとめをプレゼンテーションして、しっかりアイデアを考えることができて良かったと思う。プレゼンテーションはあまりうまくはなかったが、しっかりと終わらすことができて良かったと思う。
- ・全体でA期のまとめを行い、それぞれの班でユニークな活動発表ができてよかったです。米沢のことをもっと広めるために私たちができることもたくさんあると感じました。
- ・自分の進路の幅も広がり、とても良い経験になりました。
- ・この分野は、どの地域でも良い点と課題が確実にあるので、大きく見れば日本全体として考えられるので面白かったです。
- ・グループのみんなと話し合いを行うことで、新しい視点を得ることができ、それらを掛け合わせてよりよいアイデアを出すことができました。
- ・他の人から自分と異なる視点の考えを聞くことができたし、自分自身、新しい物の見方をすることができ、とても楽しかった。実際にみんなと企画してみたいと思った。

② 人文学とサイエンス

- ・おもしろかったです。(4)
- ・興味深い学問でした。(5)
- ・犯罪をする人の動機だけでなく、被害者、第三者も分析する学問ということを知りました。(2)
- ・普段あまり意識していない「犯罪心理学」という分野に触れることができて、とても有意義な時間を過ごせた。
- ・心理学について先生の考え方をたくさん知れてとても良かった。自分も知識を広げることができた。心理学についての本や映画など、先生が言っていたものを見てみたいと思った。(2)
- ・犯罪心理学に考え方がたくさんあって面白かったです。犯罪の動機が変わってきていることを知れてよかったです。

- ・犯罪心理学は数学や理科の分野と人の経験が絡み合っていて、まさに異分野融合な学問だと感じました。心理学がまだ学問としては歴史が浅いと知って驚きました。(2) 先生の紹介された本がどれも面白そうだったので、読んでみようと思います。
- ・犯罪心理学は思っていた以上に奥が深く、また面白いものだった。(2) 他国も今も昔も殺人というものはあれど、法律が違えばさばき方も前科者の復帰に対する活動も様々あるのだと知れた。
- ・初めて知ることが多くてびっくりした。
- ・最後まで楽しくて、内容の濃いお話ばかりで、とても充実した時間でした。
- ・講義中に質問をする時間が何度かあったため、内容を整理できてよかった。
- ・歴史を知ることによって、現在の犯罪学への関心が高まったし、未来がどうなるかも気になります。
- ・新しい学問に出会うことができ楽しかった。犯罪心理学は、社会においてとても重要な学問だと思った。学びが多かった。

③ 教育と科学

- ・自分のしたい授業ができた。大人になった時の職業の選択肢が増えたのでよかった。皆の前に立って授業をすることの大変さや面白さを知れた。
- ・自分たちで教えたい分野を選んで必要な情報や教材を探していく活動がすごくためになったと思う。発表では、先生側ばかりが話すのではなく、生徒も巻き込むことが大切だなと感じた。
- ・小学生に教えるので、なるべく簡単にしようとしたが、まだ高校生の頭で考えてしまっていたので、もっと本番を想定した授業を考えていきたい。(2) それぞれの班で授業方法が異なっていておもしろかった。
- ・実際に授業をしてみると、その難しさがよく分かった。(4) 今回は20分の授業だったけれど、これを1時間近くやるのはとても大変だと思った。
- ・模擬授業ですごく緊張したけど「教える側」での学びも得ることができてよかったです。
- ・授業をするのは簡単だと思っていたが、意外と難しいと思った。
- ・講義や授業をしていく大変さや工夫の仕方が前よりも理解できた。経験できないことを今回試してみ、将来につなげていきたいと思った。
- ・授業をする難しさや生徒児童との関わり方について、深く考えさせられるよい機会になった。
- ・模擬授業はもっと前から準備しておくべきだったし、生徒が理解できているかを確認しながら進めばよかったなと思った。また、生徒と一緒に声を出して読むなどして、コミュニケーションを取る時間もつくるべきだったと思う。
- ・生徒も十人十色なので、先生のやりたいことだけでなく、生徒の理解度や生徒ごとの差異を感じることも大切なのかもと感じた。要点をズバッといえるような教員になりたいと考えました。

④ ライフサイエンス

- ・今回は、塩分濃度についての話を聞いて、自分が高血圧よりであることや、塩分を多くとることの危なさを知ることができたので良かったです。
- ・生活に関するいろいろなことを科学的に知れて良かったです。
- ・人によっておいしいと感じる塩分濃度が違って面白かったです。
- ・減塩についての取り組みを知ることができて、これからの生活に活かしていきたいなと思いました。適塩弁当のことなども初めて知ったので、食べてみたいなあと思いました。
- ・減塩の仕方についていろいろ工夫するところがあることを改めて実感しました。自分自身も気を付けるようにしたいです。(2)
- ・「食」に対して意欲を高めることができ、健康に対しても考えるようになりました。
- ・普段の食事で塩分をかなりの量とっていることが分かったので、これからの生活で改善していきたいです。

・減塩のための取り組みを大学生などと協力しながら工夫していて、人々が塩分を意識できるものを考えるのがすごいと思いました。カップラーメンが想像以上に塩分が入っていて、もっと気を付けようと思いました。自分たちで作ることで、いつも塩分をどれくらいとっているのかがわかりやすくてよかったです。

・山形県の塩分摂取量がこんなにも多いとは思わなかった。(3) 日頃から減塩に心がけ、健康な生活を送りたいと思った。(2)

・減塩についての講義を受けて、これからの食生活をよりよくできるなと思いました。

・自分たちの普段の生活をより良くする術が見つかったような感じがして、とても充実した内容だったと思いました。これからは今回学んだことをもって臨めるようにしていきたいと思います。

・減塩は体にとって大事だが、物足りないという人もいます。塩の代わりとなる、体に悪影響を及ぼす心配のないものはないのだろうか。

・自分の健康のためにも塩分を取り過ぎないようにする、だけどおいしい食事が作れるようにすることは簡単なことではないのだなと改めて実感しました。

・おいしく減塩して食べていきたい。

⑤ 機械・エネルギー工学と社会

・有機ELあるいは有機材料が急速に身の回りのものへの応用が進んでいて驚いた。また、野菜の生育と有機ELの関連性についての研究は、自身で来年度のSSRにて掘り下げてみたいと感じた。

・このような技術が身近にある生活を考えたら夢があるなと感じました。身近にあるものもそのことを良く知らないことがよくあると思いました。もっと身の回りのことも調べて、見識を深めるのも楽しそうだなと思います。

・実物を見ることができたり、実際の使用例などを見ることができたりしてとても面白かった。(2)

・スマート未来ハウスで近未来的な技術をたくさん見ることができました。有機ELのあたたかみや、目に優しいところなどをよりよく学ぶことができました。米沢という地域ならではの課題も、今後この技術によって解決するのではないかとわくわくしました。

・自分の住んでいる街で有機ELが誕生し、発展していると聞いて驚きました。

・極限まで金属板を薄くして透明のテレビを作るという研究が進んでいることを知れて驚いた。

・日本の化石燃料依存度や温室効果ガスの排出量を見て、次世代太陽電池の必要性を強く実感した。

・有機ELをたくさん使って、豊かに生活することができると分かりました。当たる光の色や明るさによって印象が変わると知ることができました。

・普段聞くことのない詳しい情報が聞けたり、技術の進歩を感じることができたり良い経験になった。

・有機ELのくわしい仕組みが耐久性について知ることができておもしろかった。有機ELはこれからもっと身近になると思うので、今詳しく知ることができてよかったと思う。

・今回実際に有機ELを見て、めっちゃ薄くてびっくりした。これから先もどんどん未来が発展していくのだと実感した。

・有機ELの歴史、仕組みについて学ぶことができ、有機ELの必要性について知ることができてよかったです。

⑥ デザインと工学

・自分とは異なる世界の感じ方をしている人々がいて、各々が生活しやすかったり心地よかったりするためには、バランスの良いデザインを考えていくことが大切なのだと思います。様々な分野の知識をもち、新たな視点から問題を見つめることで、解決策をより実用的で利益をもたらすものにできると考えました。

・いろいろな視点から物事を見ることで問題解決につながるということが分かりました。人によって聴覚などの感覚は違うので、それを理解したうえでよりよい社会に向けて考える必要があると思いました。

- ・アイマスクを用いた視覚障がい疑似体験など、自分の見方が広がるような、変わるような体験ができました。(6) ここから自分とは異なる境遇、また、マイノリティの人々を含め、様々な人々に配慮したデザインが基本だと学びました。また、今のうちに幅広いことを知って、机上の学習だけでなく、視野を広げ、将来のプロダクトデザイナーという目標につなげたいと思いました。
- ・「音楽」「音」について、前まで知っていたこととは違うことを知れて、音のデザインは、その人がどんなところにいた人かや、どんな人なのか知ったうえでデザインするのだということを知って、びっくりしました。また、デザインするということは、専門的に学ぶのではなく、広く学んだうえでデザインすることが大事だと知りました。これからは広い視野を持って学びたいです。
- ・先生のお話が分かりやすく、とても興味が湧いた。自分事として考えることが多く、信号の話については、私たちが最も考えなくてはならないと思った。そういう視点で物事について考えていきたい。
- ・自分の視点だけで見ても世の中は変わらないので、様々な視点からみて、みんながよりよく生活できる社会を目指していきたいなと思いました。
- ・今回の疑似的な体験によって、普段意識的に聞いていない話も聞こえるようになり、面白いと感じて様々な人の目線から物事を考えてより良くしていくことが必要だと実感した。
- ・いつもの世界と違う世界を見て、視覚障がい者はこんな気持ちなんだ、大変だなと思った。その人たちにも快適に過ごせるようなデザインに興味を湧いた。
- ・違う世界を生きる人々への配慮、“よさ”を考えることの重要性を感じた。
- ・人々の感じ方は人それぞれだし、それがデザインにおいてとても重要なポイントであることがわかった。年齢性別だけでなく、文化や個人の趣味、好みによっても違ってくることを改めて認識することができ良かった。

⑦ マテリアルサイエンスと人間社会

- ・米沢にも鉱毒を処理する場所があると知って驚いた。(2) 探検しているようで楽しかった。(2)
- ・半永久的に出続けるということは知らなかったなので、もっと知りたいと思った。
- ・とても貴重な体験ができてよかった。
- ・身近な、西吾妻山にも硫黄鉱山があることを知りました。トンネルの中が思ったより水に浸っていて、進んでいくのが大変でした。これから酸性水の問題をどうするのか考えていきたいです。
- ・調べたいことがたくさんできた。
- ・大自然の中で学びを深められたので良かった。

⑧ バイオ産業科学と社会課題

- ・PCRの実験を実際体験することができて良かったです。
- ・とてもおもしろかったです。
- ・生物の学習において、イメージする力をつけることができ、良かったと思います。

⑨ 医療の最先端

- ・ヘルスリテラシーは健康でいるためにとっても大事なことだとわかりました。(5) これからは、もっと健康に気を付けて生活していきたいと思いました。(2)
- ・健康に生活していくために、積極的に情報を入手し、適切に活用することの大切さを学んだ。今日の学びを今後の生活に活かし、よりよい未来のために努力していきたい。(3)
- ・医療というのは、医者や看護師だけでなく、調査したことから原因を導いたり、今後どうしていくべきかなどを考えたりすることも当てはまるとわかった。医療従事者でなくても、自分の健康は自分で守れると分かったし、守らないといけないと感じた。
- ・情報を調べていくうえで活用するには、知識が必要になってくると思うので、学習は怠ってはいけないと思った。身近ながんや健康だったのでより理解できたと思う。
- ・ヘルスリテラシーについて仮説を立て、自分の考えを持つことができた。

- ・身近な医療を知り、海外と比べることで、先進国であるからこそその課題を見つけられて良かったです。
- ・近年、がん患者が増えているという面では、今ある“大切な人という”という幸せを健康によって絶対的なものにして長く続かせていくためにも、ヘルスリテラシーは重要なのだと学ぶことができた。
- ・近年は医療の機械化によって医療における工学の割合が重要になっている。そのような中で、医工学を学べたことは、医療の現状を知るうえでも、今後の医療に必要なものを考えるうえでも、大変役に立つものだった。単に医学について学ぶだけでなく、工学をはじめその他の学問を学ぶことで、視野を広げたり、斬新な考えを思いついたりできることに気づくことができた。
- ・今回の講義で知っているようで知らなかった眼や心電図そして、人間のために役立つ工学など、様々な分野について、実際に見たり考えたりすることで、より興味が湧きました。そして、自分の体、身体の仕組みなどについてまだまだ知らない不思議で溢れていると感じたので、個人的にも調べて、自分の世界を広げていきたいと思いました。
- ・なかなか体験することができないことをさせてもらうことができ、興味深かったです。(2)
- ・今までなんで目で人の区別ができるのか分からなかったけど、目の虹彩の模様は指紋のように人それぞれ違っていることを知れて、謎がとけてうれしかったです。
- ・実際に使われている医療器具で人の目を観察して、自分の知っていること以外にも広く学ぶことができたので楽しかったです。(2) 車いすでは皆の想像力がすごく発揮されていて、参考になりました。他の医療器具も使ってみたいし、仕組みを知りたいと思いました。
- ・正解がない問題だと、他の人の意見を取り入れていくことも大事だと思った。
- ・自分なりに考えてみたり、アイデアをだすことができよかったです。初めてのこともあり楽しかった。
- ・日常生活では体験できないこと、きけないことなどがたくさんあり、この分野に対しての興味関心も高まりました。なかなかない機会だったと思うので、メモなど見ながら自分なりに調べたりしてもっと理解を深めていきたいです。
- ・自由な発想で考えられるのがとても楽しかった。目の瞳孔まで細かく見たのは初めてだったので、発見があってよかった。
- ・今回の講話では自分が知らなかった新しい知識を得ることができました。次回何か体験があるときは、積極的に参加しようと思うことができました。
- ・工学も医学も医工学もすべて、人々の生活をより良くするために日々発展している。